

有珠山の火山活動解説資料

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

<噴火予報（噴火警戒レベル1：活火山であることに留意）が継続>
9日09時頃から10日06時頃にかけて火山性地震がやや増加し、9日18時頃からは山麓に設置した傾斜計でわずかな傾斜変動を観測しました。地震の加速度的な増加はなく、10日06時以降は地震の少ない状態で経過しています。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況（図1～5）

9日09時頃から10日06時頃にかけて火山性地震がやや増加し、21時頃からは振幅の大きな地震も発生しました。9日に177回、本日（10日）11時までに70回の地震が発生しています（速報値）。いずれも、山頂火口原のやや深い領域で発生しました。また、9日18時頃からは山麓に設置した傾斜計でわずかな傾斜変動を観測しました。本日06時以降は地震の少ない状態で経過しています。火山性微動は観測されていません。

2000年3月の噴火前に認められたような、地震の加速度的な増加は観測されていません。

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

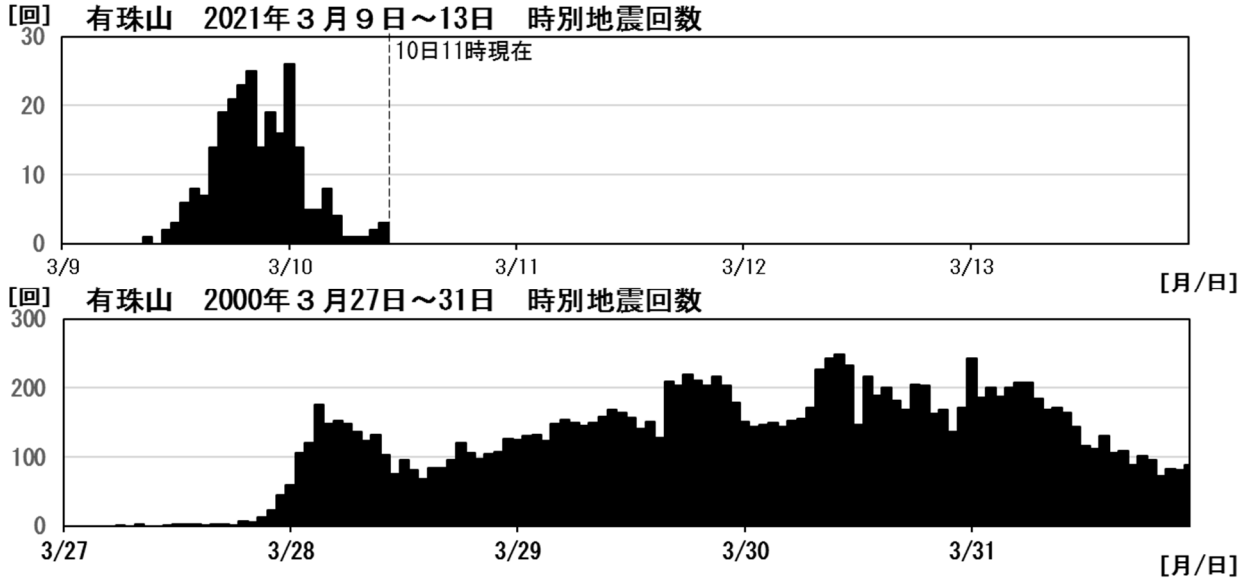


図1 有珠山 火山性地震の特別地震回数
(上：2021年3月9日～13日、下：2000年3月27日～31日)
計測基準：南山麓地震観測点で0.3 μ m以上、S-P2秒以内

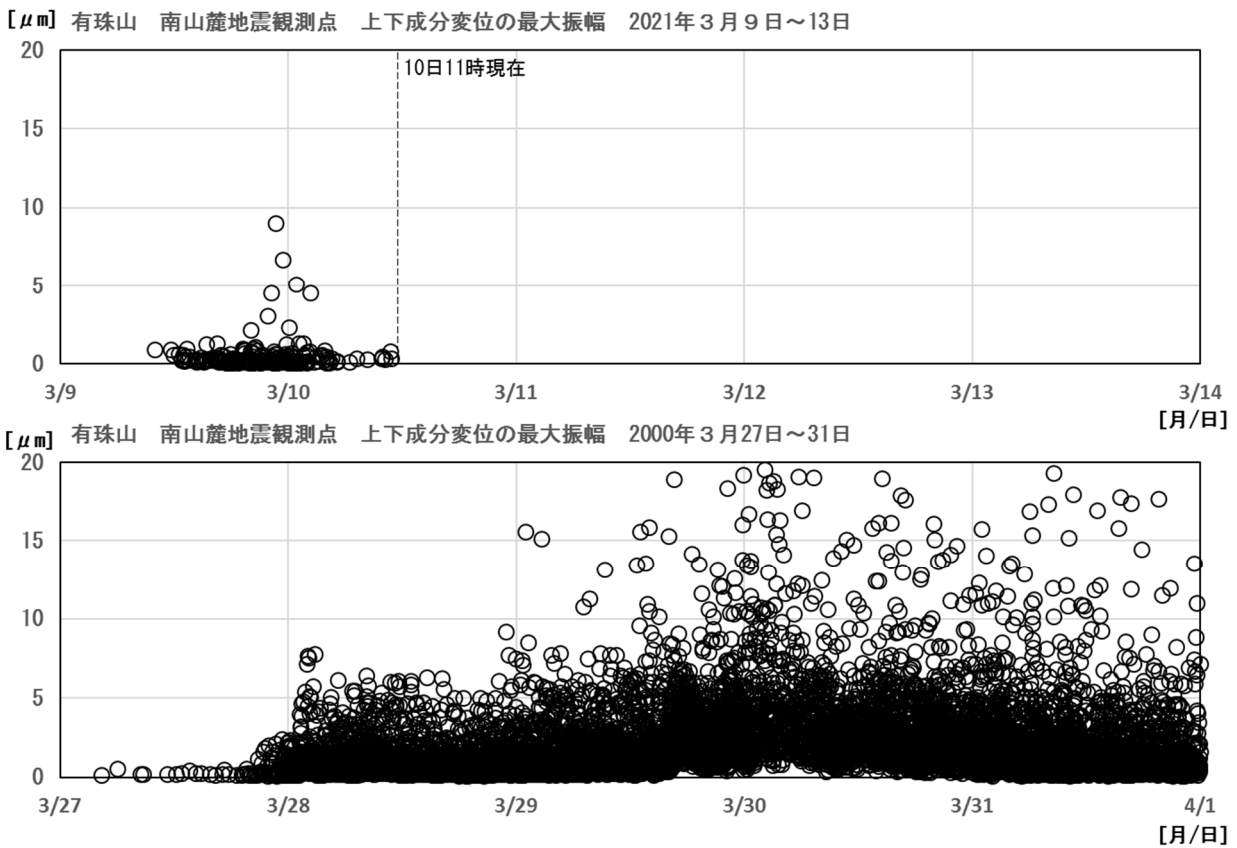


図2 有珠山 火山性地震の最大振幅
(上：2021年3月9日～13日、下：2000年3月27日～31日)
計測基準：南山麓地震観測点で0.3 μ m以上、S-P2秒以内

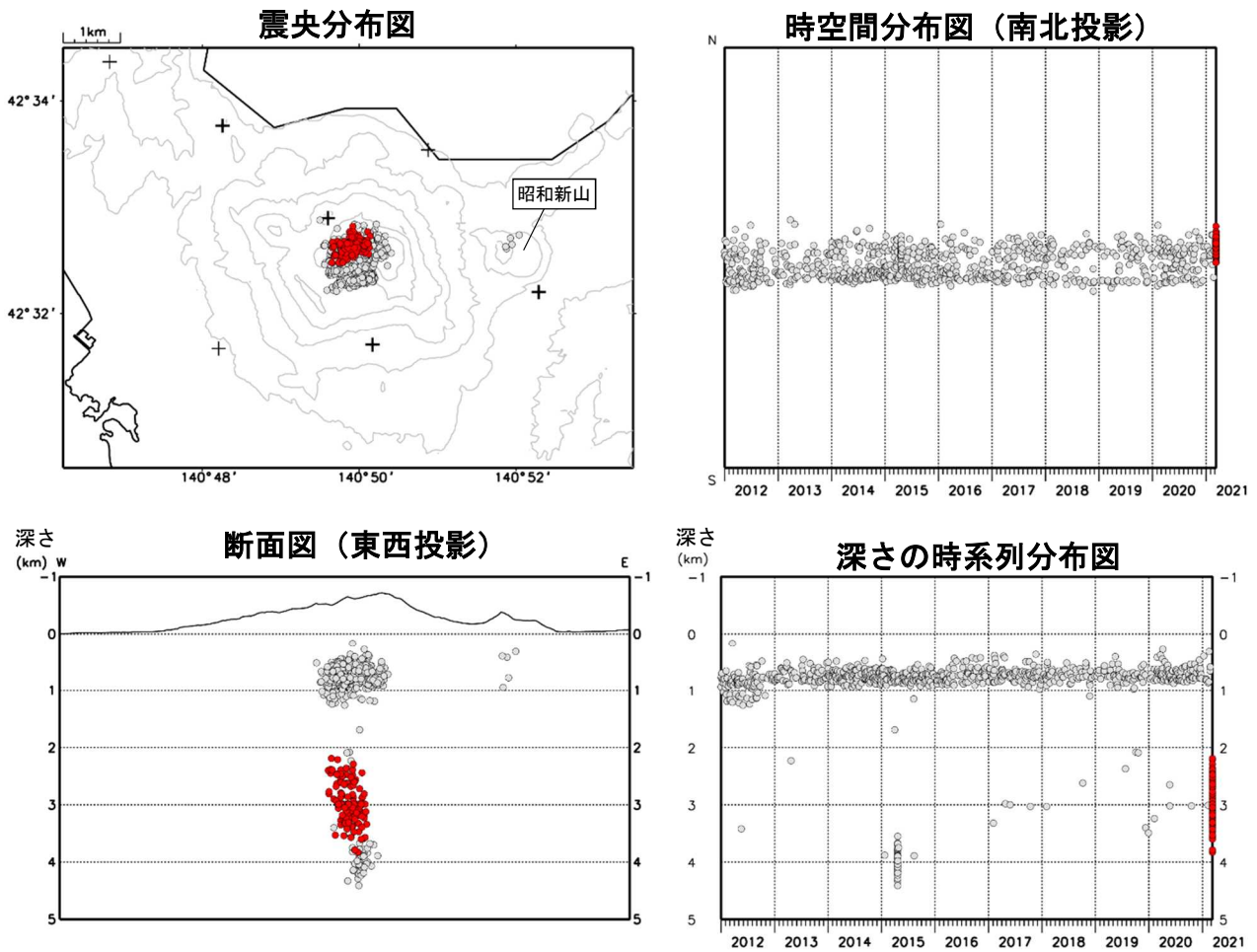


図3 有珠山 火山性地震の震源分布 (2012年1月～2021年3月10日11時)
 ●印：2012年1月～2021年3月8日の震源 ●印：2021年3月9日～10日11時の震源
 +印：地震観測点

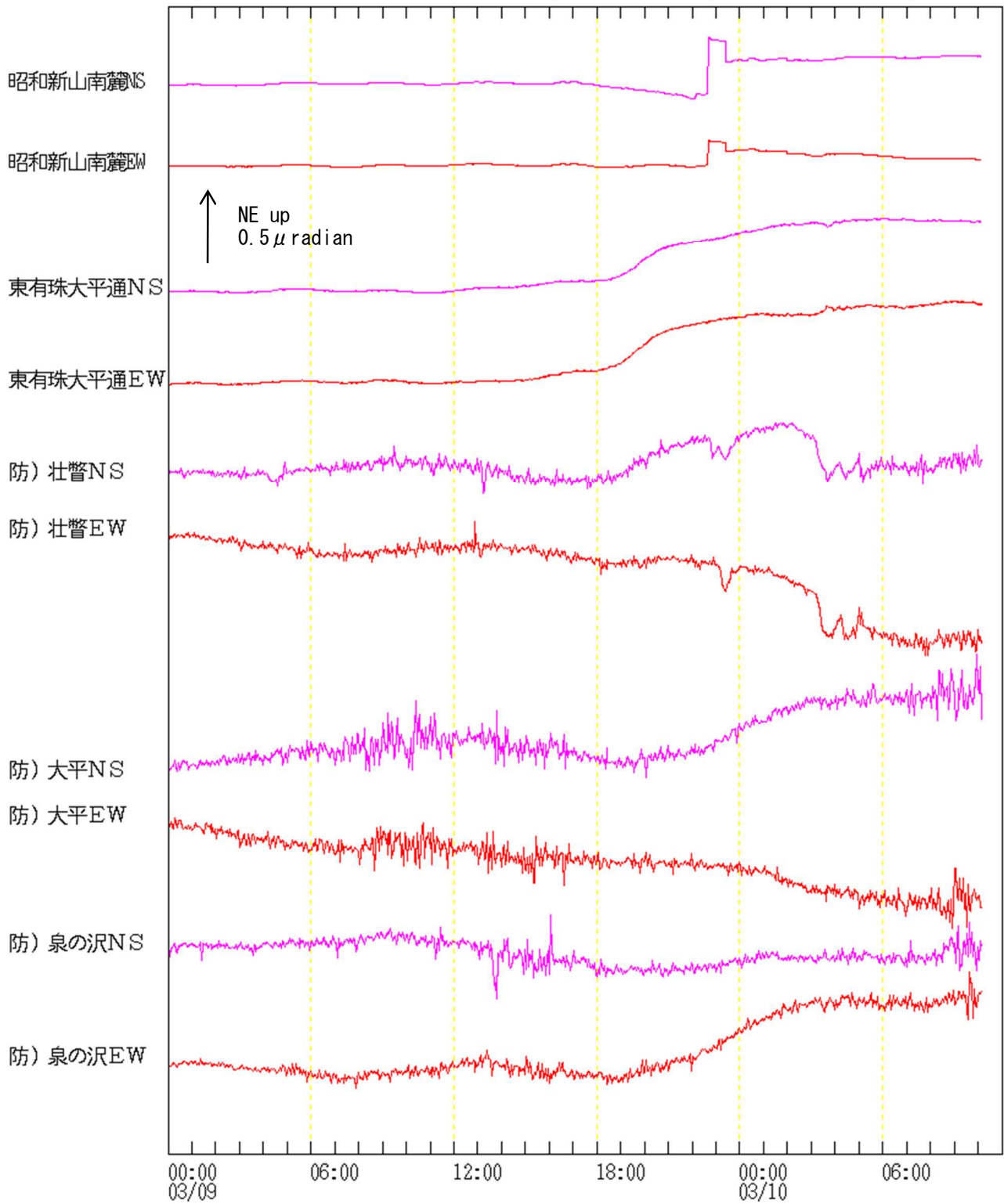


図4 有珠山 3月9日00時00分から10日10時00分までの傾斜変動(分値)
防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所
・ 9日18時頃から山麓に設置した傾斜計でわずかな地殻変動を観測しました。

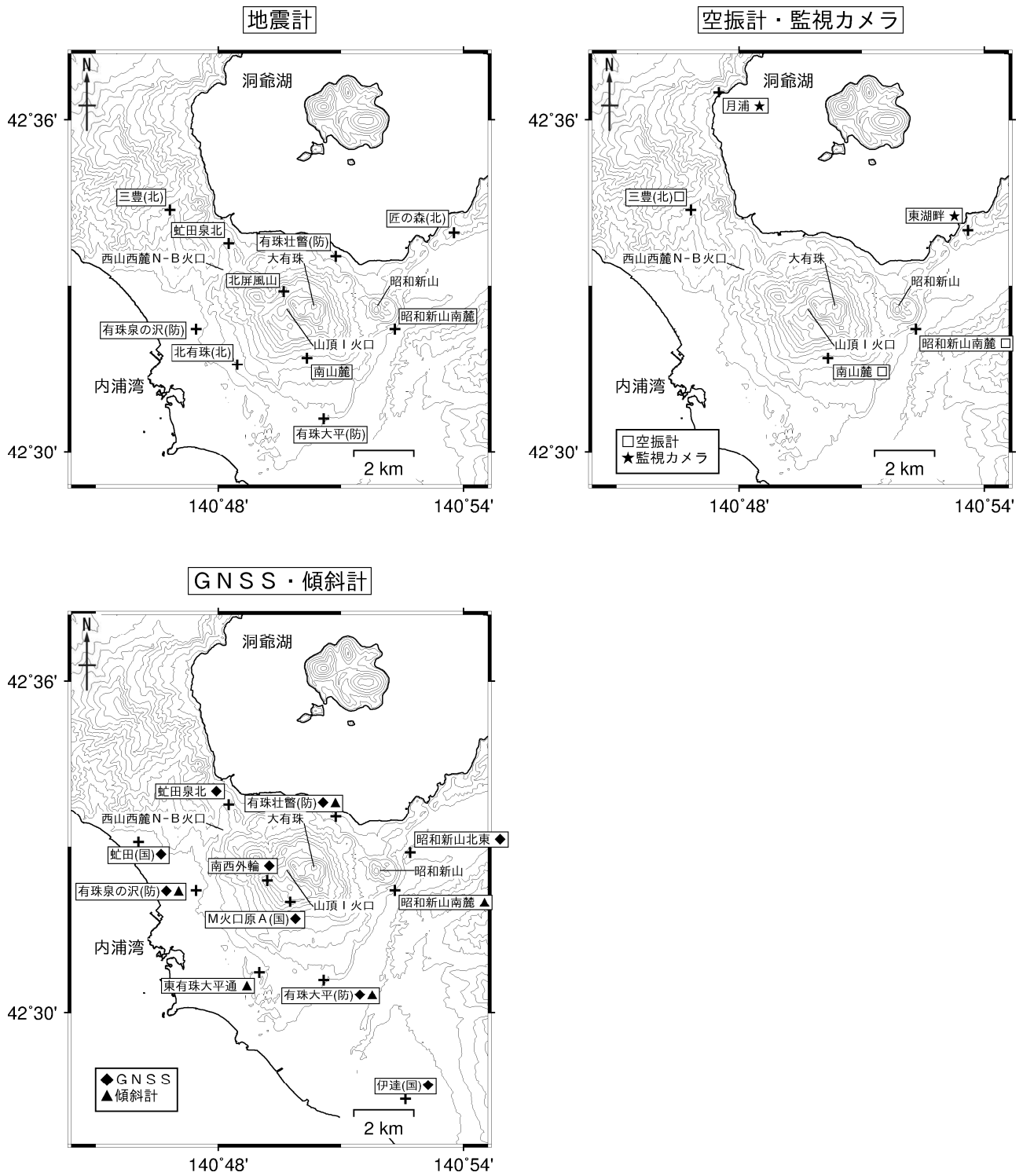


図5 有珠山 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国) : 国土地理院

(北) : 北海道大学

(防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所